

生活環境

安全で快適なまちづくり



新規 空き家バンクリフォームへの補助 ▶150万円

空き家バンクの利用促進と市外からの移住定住を目的として「空き家バンクリフォーム補助金」を新設します。当補助金と既存の「空家等解体費補助金」を活用して、空き家の利活用と不良住宅の除却を促進します。



拡充 公共交通事業の再編 ▶2億1,130万円

循環バス「ぐるりん号」は利用しやすい運行エリアへの見直しを図り、コンパクトで効率的な運行のために再編します。さらに、老朽化した車両の更新やモバイルチケットを導入するほか、デマンド交通「愛・あい号」は、市内全域での運行を開始します。

都市基盤

魅力的で利便性の高いまちづくり



新規 下大野線の整備 ▶7,417万円

今年度に完成する柳橋下大野線の西側延伸事業として、県道境間々田線から都市計画道路東牛谷釈迦線までの下大野線の整備に着手します。併せて、路線測量と道路予備設計を行います。

拡充 都市計画道路の見直し ▶1,994万円

未整備の都市計画道路について、令和2年度から実情に合わせた見直しを行います。今年度は、都市計画変更に向けた図書の作成と住民説明会を開催します。



行財政

まちづくりを支える行政経営



新規 第Ⅲ期基本計画の策定 ▶951万円

市の最上位計画である第2次古河市総合計画について、これまで推進してきた第Ⅱ期基本計画の計画期間が今年度で終了することから、第Ⅲ期基本計画の策定に着手します。時代のニーズに即した施策などを掲げ「華のあるまち古河」の実現に向けて取り組みます。

継続 窓口の改善 ▶4,013万円

官民が連携し、ICTの活用を含むさまざまな手法による窓口の改善を進めています。今年度は業務内容の調査・分析に加え、窓口業務の委託化に向けた管理者候補を配置するなど準備を進め、市民満足度の向上と質の高い行政サービスの提供を目指します。



健康福祉

互いに支え合うまちづくり



新規 保育ICTシステムの導入 ▶191万円

保護者の利便性の向上を図るとともに、保育士の業務負担を軽減し、子どもと向き合う時間を増やすことで保育の質を高めます。今年度は上辺見保育所に導入します。



拡充 相談支援体制の強化 ▶1,600万円

障がいのある人の生活を地域全体で支えるため、新たに地域生活支援拠点コーディネーターを配置します。地域生活を支援するための中心的役割を担い、緊急時には関係機関が連携し、地域全体で支える体制の整備や居住支援機能の強化を図ります。

教育文化

人が育ち文化の息づくまちづくり



新規 高等教育機関の調査研究 ▶401万円

高等教育機関の誘致について、市と(一財)地方自治研究機構が共同して調査研究に取り組みます。市の特性や誘致方法などの整理・研究を行い、市の現状に合った誘致の可能性を探ります。

新規 コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の導入 ▶384万円

学校と地域住民等が目標やビジョンを共有し、力を合わせて学校づくりに取り組むために、市内全ての小中学校にコミュニティ・スクールを導入します。



継続 小中学校体育館照明LED化 ▶6,346万円

今年度は古河第三小学校、中央小学校、水海小学校、諸川小学校および古河第三中学校の体育館照明をLED化し、コスト削減や避難所としての機能向上も見据えて、より安全安心な学校施設を維持していきます。

産業労働

活気とにぎわいのあるまちづくり



新規 省エネ診断支援 ▶196万円

カーボンニュートラルの取り組みを推進するため、中小企業に対して省エネ診断などに必要な費用を補助します。



継続 新たな産業用地の創出 ▶4,017万円

圏央道境古河インターチェンジ周辺における企業の高い立地ニーズを背景に「東山田・谷貝地区」で、新たな産業用地を創出する事業に取り組んでいます。現在、立地企業の募集を行っており、今年度中に立地企業への用地引き渡しを目指し、地権者協議会と協力して事業を進めていきます。